

第15回 画像センシングシンポジウム

15th Symposium on Sensing via Image Information
(SSII09)

発表募集

<http://ssii.jp/>

会期：2009年6月10日(水)～12日(金)

◆10日：チュートリアル講演会

◆11, 12日：シンポジウム

会場：パシフィコ横浜アネックスホール

画像センシング実用化へのブレイクスルー

ごあいさつ

(SSII09実行委員長:北海道大学 金子俊一)

画像センシング技術の実用化推進をめざして1995年に始まったこのシンポジウムも今回で15回目を迎えます。

昨年は参加者数1,000人を突破し、名実ともに日本最大規模に成長いたしました。これも、一般参加者および発表者の皆様一人一人が主役である、最新の情報交換と自由闊達な議論の場をご提供する、常に新しい問題提起により時代を先取りするテーマに取り組むという、本シンポジウムの基本理念に共感して下さった皆様からの暖かいご支援の賜であり、厚く御礼申し上げます。

SSIIは進化し続けています。SSII09実行委員会でも、同技術に関わる幅広い分野の産業界の方々や、大学・研究機関の皆様方からの熱い期待に応えるため、魅力的な新企画はもとより、シンポジウムの全てのセッションを戦略的に協調させて企画・運営するなど、年1度のこの大きな交流の場を例年以上に意義深いものとするをお約束いたします。

本シンポジウムは、参加される皆様方の貴重な研究開発成果で支えられています。SSII09への、ひとりでも多くの皆様からのご投稿、ならびにご参加をお待ちしています。

発表内容について

本シンポジウムは、画像センシング技術を広く産業応用することを目的とする研究発表と議論の場です。産業界にインパクトを与える先進的な基礎研究や挑戦的な問題提起はもちろんのこと、いまそこにある実課題への取り組みや、現場での実利用に欠かせないノウハウやエンジニアリングに関する発表を広く募集いたします。

発表募集するセッション

発表者と参加者の自由なコミュニケーションの場を提供するためのインタラクティブ&ショートオーラルセッション、および実際にリアリティあふれるデモをご覧いただく特別展示セッションの2つを募集いたします。

(1)インタラクティブ&ショートオーラルセッション

参加者と一対一で対話できるセッションで、本シンポジウムを特徴づける中心的なセッションです。創意あふれる発表によって参加者にアピールしてください。

また本セッションでは発表者の方全員に、インタラクティブセッションでの発表に先立って、ごく短時間(数分)の口頭発表を行っていただきます。発表内容としては、研究内容のダイジェストではなく、思わずポスターを訪れたいような、魅力的な「研究の宣伝」を期待していますので、より多くの聴衆を獲得するための場としてご利用ください。

なお、本セッションはSSII学術賞およびSSIIオーディエンス賞の選考対象になります。

(2)特別展示

よりデモ性・実用性の高いシステムの実演展示で、最先端の画像センシング技術及び応用システムをアピールできるセッションです。

特にその場でシステムの動作の様子や効果を実感できるデモンストラーションを推奨します。目を引きやすく広い発表スペース、十分な展示時間(1日程度)で存分にお持ちの技術をアピールしていただけます。

既に実用化の予定があるものに限らず、実用化を視野に入れておられる方、十分な討論の時間を確保したい方に最適な展示形式です。

なお、本セッションはSSIIオーディエンス賞の選考対象となります。

スケジュール

発表応募期限:	2009年2月20日(金)
採否決定通知:	2009年3月17日(火)
カメラレディ原稿提出期限:	2009年4月 3日(金) 正午

応募方法・審査

Webサイト(<http://ssii.jp/>)で受け付けます。以下の書式ファイルをダウンロードし、ご記入の上、ご投稿ください。

(1)応募原稿

インタラクティブ&ショートオーラルセッションをお申し込みの方は、題目、著者名、所属、連絡先、発表の概要を1ページ。

(2)応募チェックシート

インタラクティブ&ショートオーラルセッションにお申し込みの方は発表内容に関する自己評価、必要設備の要望を、また、特別展示にお申し込みの方は、展示システムの動作と展示の様子についてご記入ください。

ご提出いただいた応募原稿をもとに査読を行い、採否を決定します。応募要領・査読の詳細はWebサイトをご覧ください。

カメラレディ原稿

インタラクティブ&ショートオーラルセッションでは、電子版予稿集用のフルレングス原稿(最大8ページ)、および印刷版予稿集用のダイジェスト原稿(1ページ)の両方をご提出いただけます。

特別展示では、印刷版予稿集用のダイジェスト原稿のみご提出いただけます。

優秀発表の表彰

SSIIでは発表に対し、以下の表彰を行います。

(1)SSII学術賞

インタラクティブ&ショートオーラル発表の中から、実用性・完成度・社会波及効果・プレゼンテーションなどのインパクトを総合評価し、優秀な技術発表を表彰いたします。

(2)SSIIオーディエンス賞

インタラクティブ&ショートオーラルと特別展示のご発表の中から、聴講された参加者皆様の投票をもとに優秀な発表を閉会式で表彰するオーディエンス賞も昨年同様実施いたします。

(3)SSII高木賞

SSIIの創始者である故高木幹雄先生の功績にちなみ、過去10年(1999～2008年)のSSIIで発表された研究成果の中から、実用化の観点で社会に大きく貢献した発明を高木賞として表彰します。応募要領はWebページをご覧ください。

SSII09についてのお問い合わせ

【画像センシング技術研究会 事務局】

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27 アドコム・メディア(株)気付
Tel:03-3367-0571 Fax:03-3368-1519
Mail:info@ssii.jp